

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

民意を反映する選挙制度実現  
比例定数削減反対！ 運動情報

第 435 号 本号 4 ページ

2014 年 4 月 19 日（土）

## 安保法制懇「報告」の概要明らかに —9 条破壊、武力行使へ解釈転換 —ねらわれるアフガン型対テロ戦争への参加、 イラク戦争型多国籍軍への参加

「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会」（安保法制懇）は、首相の私的諮問機関にすぎませんが、安倍首相は同懇談会を金科玉条のごとく扱い、報告書を受け、準備中の政府方針ともすり合わせて解釈変更の閣議決定へと強行しようとしているといわれています。

安保法制懇の報告書は 5 月の連休明けに提出されますが、その内容は時事通信の安保法制懇・北岡伸一座長代理へのインタビュー記事（4 月 10 日）などから、概要が明らかになっています。そこでは、戦後日本が世界に公約し、平和の道を歩んできたことを否定し、海外での武力行使に道を開く、9 条への全面攻撃の恐るべき内容となっています。

### 憲法 9 条 2 項を攻撃、集団的自衛権行使を容認、首相の判断でどんな戦争にも

明らかになった報告の概要や北岡氏の発言では、憲法 9 条 2 項の「戦力不保持」「交戦権の否定」に対し、歴代政府は、「自衛のための必要最小限度の実力」として自衛隊を合憲としてきましたが、「今や個別的自衛権では日本は守れない」として、「必要最小限度」に集団的自衛権が含まれるとします。「集団的自衛権行使の 6 条件」にもとづくとして、「日本と密接な関係にある国が攻撃される」という場合の「国」は米国だけでなく、「戦略的利害が同じ」国を含み、「首相が総合的に判断する」として地理的制限なども無限定に拡大できるものです。アフガニスタンでの対テロ戦争のような戦争への参加も排除されません。

また最高裁「砂川事件」判決についても、「憲法判断は内閣法制局ではなく最高裁がおこなうものだということを示すうえで重要」としています。

### 憲法 9 条 1 項「戦争の禁止」を破壊し、「戦争する国」へ

9 条 1 項の「国権の発動たる戦争」「武力による国際紛争」の禁止に対し、アメリカの自衛隊出動要求に、これまで「特措法」などで対応し、海外派兵を進めてきましたが、9 条 1 項との整合性の関係から「歯止め」を設定していました。武器使用の制限、他国の武力行使と一体化しないなどの制約です。これに対し、北岡氏は「国連平和維持活動（PKO）での武器使用が制限されているのは間違い」「多国籍軍に参加することごとに制約はない」と判断。

国連の集団安全保障への積極的参加も打ち出しています。こうして、イラク戦争のような、アメリカが国連安保理事会の決議を「根拠」に、正当化した戦争にも、多国籍軍の一員として参加することも可能であることを明らかにしています。

### 「グレーゾーン」にも言及、ロシアのクリミア侵略と同じ論理

さらに、「武力攻撃には至らない侵害」とされる「グレーゾーン」事態について、「自衛隊が対処する法整備がなく、在外法人救出のための法律も不備」として、自衛隊の国内外での武力行使の権限を拡大しようとしています。政府が自衛権発動の「要件」としてきた「急迫不正の侵害」以前の事態への対処ということで、解釈変更をするものです。中国による領海侵犯への武力での対応を想定しています。「自国民保護」を理由に、ロシアがクリミアに対しておこなった古典的占領と同じ理屈です。

### 国民は、集団的自衛権行使容認、多国籍軍への参加などを許さない！！

集団的自衛権行使容認には各種世論調査で6割以上の世論が反対しています。さらに自衛隊の多国籍軍への参加や尖閣を理由に中国などとともに構えることを打ち出そうとすれば批判の高まりは避けられません。

安保法制懇の報告や安倍政権野目論見は不要であり、断念すべきです。

## 2014年5・3集会の意義いっそう高まる 世論と運動で安倍政権の包囲を —当面の取り組み一つひとつへの成功へ！

以下は日程が判明している当面の行動計画で憲法会議が参加をよびかけるものです。このほかにも取り組みがあり、詳細が決まり次第連絡します。

団体・組織の代表や呼びかけあつての参加で一つひとつの計画を成功させ、世論で安倍政権の暴走をストップさせましょう。

### 4月22日（火）

◇衆議院憲法審査会傍聴 改憲手続き法改正案に関する参考人質疑が行われます。

時刻：9時～12時

傍聴：希望者は21日（月）17時までに氏名、男女、職業を憲法会議へ  
22日当日8時50分衆議院議員面会所集合

◇安倍首相のお友だちだけで構成する「安保法制懇」の「報告書」は欺瞞だ！4・22  
国会前行動

時刻：18時～

場所：衆議院第2議員会館前

主催：解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会（旧4・8大集会&デモ実行委員会）

※官邸前のTPP反対行動などと連帯して取り組みます！！

### 23日（水）

**◇「戦争する国」づくりNO！秘密保護法廃止！世界の宝9条を守り生かそう 憲法署名提出院内集会&議員要請**

時刻：14時～15時

会場：衆議院第1議員会館多目的ホール

集会終了後：議員要請

主催・呼びかけ：憲法会議、憲法改悪反対共同センター

※憲法署名、秘密保護法廃止署名などをもちよりましょう！！

**24日（木）**

**◇衆議院憲法審査会傍聴**

※詳細未定（決まり次第連絡します）

（改憲手続法改正案を提案した8会派はこの日に採決をと主張しています）

**28日（月）**

**◇解釈で憲法9条を壊すな！実行委員会（旧「4・8大集会&デモ」実行委員会会議**

時刻：18時30分～

会場：文京シビック 4階シルバーホール

※再編成した実行委員会として、当面する5月13日予定の安保法制懇報告抗議の国会包囲ヒューマンチェーン、国会会期中の大集会などの取り組みについて議論します。

賛同団体も新しく賛同を希望する団体もぜひご参加を。

**29日（火）**

**◇2014年5・3憲法集会共同宣伝**

時刻：13時～14時30分

場所：有楽町イトシア前

主催：2014年憲法集会実行委員会

※憲法集会の参加を呼びかけます。

**5月1日（木）**

**◇5・3憲法集会 憲法会議メーデー会場宣伝**

時刻：9時～11時

場所：NHK入り口手前メーデー会場入り口

主催：憲法会議

**3日（土・休）**

**◇2014年5・3憲法集会**

時刻：13時～15時20分（入場整理券配布11時、開場12時）

会場：日比谷公会堂

終了後パレード：15時30分出発 銀座に向けて

主催：2014 年憲法集会実行委員会

※要員スタッフ大募集中です。ご希望をご連絡ください。

**9 日（金）**

◇情報の所有者は国民だ！ モートン・ハルペリン氏を迎えて一秘密保護法の廃止を  
求める国際シンポジウム

時刻：18 時 15 分～20 時 45 分

会場：全電通会館多目的ホール

主催：秘密保護法の廃止を求める国際シンポジウム実行委員会（「秘密保護法」廃止へ！実行委  
員会などで構成）

（会費：1,000 円）

□